

動

Handsome

Handsome CONTENTS

No.399 November 2022

巻頭
記事

10月例会開催

10月例会を終えて/TSCが誇る3つ星企業
OB交流会～新OB会員認証式及び歓迎会～開催!!
熱盛!!中央会野球部の熱戦レポート
～卒会予定者より～全力で走り続けた中央会生活を振り返って
11月例会に向けて/会長連載/Handsome Love Letter
中央会会員のプライベートを覗き見!/?俺流ラーメン
こんなに大きくなりました/役員会報告/編集後記

～今、この瞬間に全力～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 高井賢一 ◆編集責任者/担当副会長 小谷泰樹 ◆制作・編集 第48期広報委員会/委員長 景山貴司

10月例会開催 『人口最小県からの挑戦 ～人口増加でパワフルなふるさとを創る～』



令和4年10月17日、米子商工会議所大会議室にて政治行政委員会担当の10月例会が開催されました。冒頭の高井会長の挨拶では「コロナウイルス感染症が終息したわけではないが感染の拡大は徐々に落ち着きをみせている。鳥取県西部地域でも様々な活動が活発に行われるようになってきた。コロナ禍で失ったものもたくさんあるがこの経験を糧に前進していかなければならない。」と、とても前向きなお言葉を述べられました。

委員長タイムでは、リベラルアーツ委員会の高岩委員長が好きな調味料について熱く語っていただくなど、食についてとても関心を持っておられる事を知る機会となりました。



本例会では第一部を講演「鳥取県の人口にかかわる状況と増加へ向けた取組み」とし、鳥取県交流人口拡大本部ふるさと人口政策課の大呂英樹様より、移住と転入の違いや県内への移住を増やす事のメリット等の説明がありまし



た。また、講演ではグラフを用いて全国の人口構成、諸外国からの移住者数、コロナ中の移住マインド等、様々な角度から人口の増減の動きの現状を知る貴重な機会となりました。第二部ではポストコロナを見据えた移住者拡大の具体例として、鳥取県交流人口拡大本部部長の中原美由紀様より人口減少に歯止めをかけ、人口増加に向けて我々が今何をすべきかを講演いただきました。人口増加に向けた特効薬がない中で鳥取県の取り組みやUターン、Iターンで鳥取県に移住された若手社員、若手経営者、自然豊かなこの地域に魅了され移住されたご家族等、具体例を用いて我々中小企業ができることは何かを考える事が出来る良い機会となりました。

個人ワークでは、自社で出来る事を会員1人1人が考え、講師の方々との意見交換の場が設けられ人口問題について深く理解するとともに他人ごとではなく身近に感じる良い機会となりました。本例会で学んだことを他人事と捉えず、しっかりと会員一人一人が所属企業に持ち帰り考え、行動することで、鳥取県の明るい未来につながるのではないのでしょうか。



(記事:徳中)

10月例会を終えて



本例会では「人口最小県からの挑戦～人口増加でパワフルなふるさとを創る～」をテーマに開催いたしました。人口減少問題は今に始まったことではなく長い間、問題提起されています。今回はポストコロナを見据え変化している社会情勢を捉え中小企業が採用などを通して地域の定住人口増加のために何が出来るのかを考えるきっかけになればと企画しました。

当日は講師として鳥取県交流人口拡大本部から3名の講師をお迎えし、本県における人口に係る現状把握、また県が行っている移住者拡大、関係人口、兼業・副業の取り組みについて、具体例を紹介していただきながら学びました。その後の質疑応答、ワーク発表では多くの会員が県の担当者と意見交換をすることができました。ワークシートで会員からいただいた意見は県に送り今後の取り組みや各企業との関係強化に活用していただきたいと考えています。本例会を通して行政と民間企業が共に手を取り合い地域の人口減少問題に取り組むきっかけになったのではないかと感じております。

政治行政委員会 委員長 高見 秀幸

(株式会社さんれいワーズ 副参事)

OB交流会～新OB会員認証式及び歓迎会～開催!!

10月7日、スマイルホテル米子にてOB交流会が開催されました。当日は40名を超える参加者が集まり交流を楽しみました。また2年ぶりとなった新OB会員認証式には46期、47期ご卒会から6名が出席され、新OBとして歓迎されました。

福田一哉OB会長のご挨拶と12期ご卒会の足立統一郎OBの乾杯のご発声で始まった交流会は、新OBの皆さんの楽しいスピーチなどもあり終始、笑いの絶えない雰囲気の中で行われ、最後は15期ご卒会の尾沢三夫OBの中締めでお開きとなりました。

中央会創成期のOBの皆さんから新OB、そして現役と各世代からの様々なお話があり、あらためて当会の長い歴史を思いました。そして中央会とは現役会員だけでなく多くのOBの皆さんとの繋がりの中にある会であることを実感した交流会でした。



(副会長 小谷泰樹)

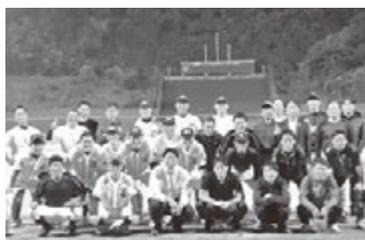
熱盛!! 中央会野球部の熱戦レポート



9月と10月に中央会野球部が練習試合を行いました。9月には米子商工会議所青年部と試合を行い、5-3で見事に勝利、10月には日本海選抜と試合を行い、1-3で残念ながら敗戦となりました。

高塚監督のラストイヤーを飾るためにも来春からもどんどん野球部の活動をしていくようです。4番の高見委員長の力強いバッティング、エース永井直前兼会長の素晴らしいピッチング、フレッシュな新入部員の柳谷会員、津村会員、藤原会員の活躍もありますので、今後とも応援宜しくお願いします。また新入部員も募集しているそうなので我こそはという会員はぜひお声をかけてください。

(広報委員会 松田順次)



～卒会予定者より～ 全力で走り続けた中央会生活を振り返って



政治行政委員会 今川 圭一 (有限会社光琳 代表取締役社長)

まづもって、約6年前に仕事都合にて鳥取市へ戻ったことを言い訳に、中央会活動を蔑ろにしてしまいご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。そんな折、卒会年度まで退会勧告等の措置なく在籍させていただいていることに感謝申し上げます。さて、長年の中央会活動を振り返ってみますと、役を受けたときはもちろんですが、年度で替わる委員会テーマに基づきメンバーと熱く議論し夢中になって活動していたことを懐かしく覚えております。委員会、例会後の懇親会にも参加する楽しみの一つでした。また、全日本トライアスロン皆生大会のボランティア活動では、マラソン部長を2年間務めさせていただき、会員並びに協会の方々と大会を成功させるべく共に汗を流し取り組んだことも良い思い出でした。

思い返せば25歳で米子の地にやってきた右も左もわからない若輩者の私を27歳のころ諸先輩方よりお誘いいただき中央会へ入会させていただきました。会に入っていなければ絶対に出会えていない異業種の方々との交流や社会勉強の数々は私にとってかけがえのない財産となりました。残り僅かな中央会生活となりますが、今までお世話になりました様々な方々に感謝の念を抱きながら過ごしていければと考えます。



広報委員会 古都 剛志 (有限会社米子タイヤサービス 取締役)

ついに中央会生活も残りわずかとなりました。トライアスロン皆生大会でいうと東山陸上競技場手前の米川沿いの道を走っているところでしょうか。正直私自身、ゴールが見えてきたことに驚いています。私自身の中央会生活での目標は最後まで完走することです。入会してから今まで変わらない小さな目標となってしまいました。そんな私を中央会の諸先輩方、会員の皆様は温かく接して下さいました。また中央会の様な歴史、伝統がある会に受け入れて頂いた事に感謝致します。ゴールは見えてきましたが、最後まで走り続けたいと思いますので皆様宜しくお願い致します。

11月例会に向けて

広報委員会 委員長 景山貴司
(株式会社カミナリ)



第48期広報委員会では「人の心に響く」ものをお届けしたいと考えながら日々の活動に取り組んでいます。人の心に響くということは「人の心を動かす」ことでもあります。そこで全会員の為になる「人の心を動かす」スキルとは何かを考え、導き出したものはコミュニケーションの基本となるトークスキルでした。

そこで本例会では、シンプルでポジティブ、そして相手を勇気づけるスピーチ「ペップトーク」を学びたいと思います。ペップトークとはスポーツの世界から誕生し、時代と共に磨き上げられ、今ではビジネスや家庭内などのプライベートでも活用できるよう進化を遂げているトークスキルです。皆様には専門的な知識をわかりやすく学んでいただくために日本ペップトーク普及協会の方をお招きし、様々な手法で理解と学びを深めます。

コロナとの闘い、止まらない物価高騰と気持ちしがちな今だからこそ、必要なのは自分も周りもポジティブになることではないでしょうか。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



TSCが誇る3つ星企業



株式会社 柳谷ファーム 「土づくりと人づくり」にこだわり、お客様に安心・安全な商品をお届けします。



今回ご紹介する3つ星企業は、動力委員会の柳谷会員が取締役社長を務めていらっしゃる、株式会社柳谷ファームです。繁忙期でお忙しいにも関わらず、会長の柳谷一夫様、取締役社長の柳谷会員、営業・広報の柳谷麻帆様にご対応いただき、貴重なお話をさせていただきました。

柳谷ファームは元々家族のみで農業に従事してきましたが規模が大きくなり、平成23年2月に現在の会社を設立され、自社農産物の販売(米、豆類、白ねぎ等)、和牛の繁殖及び育成を中心に事業を行っておられるとのことでした。今では100haという広大な土地でお米を作り、100頭を超える牛を飼養し、稲作と畜産の複合経営を行っているそうです。稲作に加え畜産を営むことにより環境にやさしい「循環型農業」に取り組んでいて、生産から販売まで一貫しているため、お客様に誰が作ったかがわかることも特徴であり、そのことがお客様に安心してお米を食べていただけることにも繋がっているとのことでした。「土づくりと人づくり」にこだわり、会社が成長していくためには人の成長が不可欠と考え、将来に夢を持った従業員を育てていきたいとの思いを語っていただきました。

農業人口が減少し、若者の農業離れが問題となり農産物の6割が輸入に頼っている中、今後の日本の農業も大切にしていく必要がある、と業界全体の話についても触れられています。会社の今後のビジョンとしては、現在は米と牛がメインだが、その他の野菜等の割合を増やしたり新しい農産物も取り入れていくこと、また作業受託や請負等の依頼も増やし、会社を発展させ、お客様に安心・安全な商品をお届けしたいと熱い思いを語っていただきました！

私の会社の3つ星ポイント



1

若い人が活躍する
機動力のある会社



農業というが高齢化が進み、若い人のイメージはあまりないのだが、柳谷ファームの従業員8人の平均年齢は33.5歳と若く、機動力も会社の強みである。近年は農業への昔からのイメージを払拭するべく、繁忙期でも休暇を取れる環境に変えていく努力をしているとのこと。また農業学校のインターンシップで学生に作業を体験してもらうなど、農業の担い手を増やすためにも一役買っている。

2

豊富な農機具



規模が大きくなり、その分作業効率を上げることが求められ、機械化が進み他の農家では持っていない農機具を設備投資し、今ではその豊富な農機具があることで作業受託を増やすことにも繋がっている。取材当日も巨大な穀物の乾燥機を見せていただいたが、この乾燥機で籾の水分量を15%に調整する工程も美味しいお米作りには欠かせないとのことだった。

3

循環型農業で安心・
安全をお届けするために



お客様に安心・安全をお届けするために土づくりは欠かせないという。牛の糞尿から自社で堆肥を作っており、堆肥で土壌の有機物を還元することによって化学肥料を極力減らし環境にも人にも優しいお米作りをしている。収穫の際に出る稲ワラ、もみ殻は牛を介してまた田んぼに還る。このサイクルこそがおいしく、安心で安全なお米を育てる秘訣となっている。



所属会員から皆さまへメッセージ 柳谷 雄大 動力委員会

第48期動力委員会の柳谷です。この度は弊社を3つ星企業として紹介をさせていただきありがとうございます。昔ながらの循環型農業を大切にしつつ、一緒にチャレンジし続けることのできる社員がいることに今回の取材を通し、改めて感じることができました。今後も私自身成長していけるよう頑張りますのでよろしく願いいたします。

企業情報

【会社名】株式会社柳谷ファーム

【代表電話番号】0859-27-0476

【住所】鳥取県米子市新印1206

(取材・記事:尾関、大江、松田)

取材をした編集部からのおすすめポイント

生産から販売まで自社で携わり、お客様に安心して食べていただけるように熱意を持ってお米作り、和牛を育てている素敵な会社でした。今回の取材で印象に残っているのは、お米作りは天候等により毎年出来が違い、悪い時の経験を次に活かしていかなければならず、毎々が挑戦だとのことでした。何事にも挑戦することは大事なことで、中央会での様々な活動を通して、日々痛感させられます。最後になりますが子牛の姿がとても愛らしく可愛かったです。

POWER

第48期会長 高井 賢一
美酒佳肴ゆらく 代表

「POWER」連載2回目となる今回は、最近私が心を「動かされた」ことについて筆を執らせていただきます。

私には、小学校6年生になる長男がいるのですが、スポ少で小学校1年生から6年間やってきたミニバスケットボールの最後の大会が先日ありました。「全国大会で優勝する!」と6年間、学校の勉強も大してせず打ち込んできたミニバスでしたが市予選の2回戦で惜しくも1ゴール差で敗退してしまいました。ゲーム終了後の最後の最後まで諦めることなく必死にプレーする姿、そして試合終了後に普段は決して人前で涙することのない彼が(家族だけの場ではしょうもない事ですぐ泣きます)、人目はばからず大泣きする姿に、心を熱く動かされました。

精一杯物事に取り組む姿は、人の心を「動かし」ます。「最近、彼のように精一杯に取り組めるものがあつたかな?」と改めて反省しつつ、仕事や中央会で人の心を「動かす」活動をしていきたいと思ひます。

肌寒い季節になってきました。風邪をひかぬように、心から熱くなるような、地域を熱くするような仕事や生活を送っていききたいものです。

中央会会員のプライベートを覗き見! 休日、この瞬間に全力 Vol.2

リベラルアーツ委員会 津村 侑吾
(米子市役所 経済部経営戦略課主任)

コロナ、コロナと賑やかになってから早いもので3年記念日を迎えようとしています。休日の過ごし方について、変わらずコロナ禍ということで、温泉・サウナ、ランニング、料理などとひとりでできるものばかりです。予定がない日は、のんびりと温泉とサウナを楽しんで、その施設でごはんを食べて帰ることがお決まりでしたが、最近では家に帰った後、バックやストレッチをはじめ「自分磨き」のようなことをしています。インターネットで最近の男性は脱毛をはじめ美容にお金をかける時代になっているという記事を目にしてから時代に乗り遅れないようにと簡単にできることから取り組んでいます。(脱毛は、痛みに耐える自信がなく、なかなか手が出せません。)

今はまだ変化を感じていませんが、「肌男」になった際には声をかけてもらえると思います。



ハンサム323号で紹介されました ♡こんなに大きくなりました♡

動力委員会 木嶋 康之
(株式会社D・I・P)

この子が生まれてから7年がたちました。お題の通りこんなに大きくなったのだとしみじみと感じます。今では小学生になり、嫌いと言いながら勉強をするようになりました。ちゃんと出来ているか心配ですが出来るようになるのは楽しいみたいです。好きなものもヒーロー物からゲームへと移り、休日は一緒にスプラトゥーン3をしています。これからも色々なものに興味を持ち元気に育ってくれたらと思います。この7年でお兄ちゃんになり写真はお地蔵さまを必死に掃除しているところです。弟にフェスティバルのチラシをみせて得意げに「お地蔵さんをみんなで掃除するんだよ」と説明していました。



普段は言えない気持ちをハンサムにのせて

Handsome Love Letter

激動の1年間

動力委員会 新井 翔太
(サンインフォース株式会社 係長)



「Dear 安達専務理事」

動力委員会の新井です。色々思い浮かべましたところ、第46期継続実行委員会安達委員長の下で副委員長を務めさせていただいた時の激動の1年間の思い浮かべます。1年間とても濃い密度で安達委員長と過ごしました。私が至らない事が多くその度にご指導いただいた結果、未だに頭が上がらず、話す時は緊張してしまいます。ですが、本当に有難く感謝しており、会社の仕事においても良き経験となり今の私にとって糧となっております。

今でも中央会の事で色々相談させていただいておりますが、呆れられることは多いです…。当時の委員会メンバーの皆様にも支えていただきました。感謝しかなく私のつたない指示の元、各自の判断もあり動いていただき委員会を支えていただきました。本当にありがとうございました。

この1年間で少しでも私の自信となり、活力となっております。中央会活動で顔を合わせる事がありますので、今後も仲良くしていただけたら嬉しく思います。

徳中会員の 「俺流ラーメン」 インスタントラーメンを3倍旨くする方法

【絶品シーフードリゾット】
材料/日清カップヌードル
シーフード
バター 1かけら
ご飯
とろけるチーズ



- 手順①お湯を入れて、バターを入れて蓋を閉めて3分待つべし!!
- 手順②スープは飲まずに麺を堪能するべし!!
- ここですでに美味しい!!
- 手順③残ったスープにご飯ととろけるチーズを入れるべし!!
- 手順④チーズがトロトロになるまで混ぜたら完成!!



ポイント/月に一度はカロリーのこと忘れて食べるからこそ俺流ラーメン!! 同じ作り方でカレーヌードルでも絶品です!!

11月役員会報告

令和4年11月1日(火)米子市公会堂にて11月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。
●鳥取県中小企業青年中央会の件 ●11月例会開催の件
●第8回大山お地蔵さまフェスティバル実行委員長及び副実行委員長任命の件…など ※詳細につきましては各委員長までご確認ください。

編集後記

転勤で米子に来てから一年半が経ちました。小学二年生の息子はすっかり米子弁を習得して私に話しかけてきます。子供の順応性は恐るべし…。私自身も中央会活動含め、色々なことに順応できるように取り組んでいきたいと思ひます。

(広報委員会 尾関元治)